

4月に新入生34名を迎え、全校生徒106名でスタートした平成30年度も、2か月目を迎えました。4月は本当に慌ただしい日々が続き、特に、新入生、そして新しく赴任されてこられた先生方にとっては、本当にあつという間の日々だったと思いますが、先般行われました城南地区体育大会と本校体育大会についてふれてみたいと思います。

① 【城南地区体育大会開催】

4月27日（金）に、城南地区体育大会が開催され、本校からはバスケットボール部、弓道部、テニス部、バドミントン部が出場しました。会場責任者として終日八代市総合体育館で運営を行いました。その際本校のバスケットボール部の試合を応援しました。負けはしたものの、必死でボールを追いかける姿勢は見事でした。点数が離れる



と諦めがちになるのは誰しもあるもの

のですが、最後の第4クォーターまで食い下がる姿勢は、高校生としてのあるべき姿を見ることができ、私も、感動と勇気ももらいました。参加した各学校の選手の皆さんが、高校生スポーツ最大の祭典である高校総体で、大いに活躍することを願っています。実力以上のものを発揮する、高校生の特色を存分に活かし、様々な人に感動と勇気を与えてください。

② 【体育大会開催】

朝から、90%の降水確率だった体育大会。体育館に移動することを覚悟して臨んだ体育大会。奇跡とも言うべきことが起きたという心境です。松橋西支援学校高等部上益城分教室の生徒さんとの合同体育大会ですが、朝からの小雨が、上益城分教室の集団演技（カラーガード）が始まると雨がピタッと止み、空が明る



くなってきました。そのまま閉会式まで雨は降らず、一部の競技をカットする措置だけで無事に体育大会を終了することができました。3年生にとっては、最後の体育大会。ましてや、2年前の1年生時は体育館での体育大会だったそうで、何とかグラウンドでやりたいという強い気持ちがあったようです。何より競技に懸命に取り組む、甲佐高校の生徒たち、分教室の生徒たちの

思いが天に届いた瞬間、出来事でした。結果はどうであれ、願いを強く抱くこと、思いを最後まで貫くことがいかに大切かを生徒たちから改めて教えてもらった体育大会でした。今回のスローガン、「邁進～気骨の精神を持って恐れることなく突き進む～」を今後も日々の学校生活に継承していき、みんなで頑張っていくことを誓い合った体育大会でした。生徒のみなさん、感動をありがとう。

